

JA 営農情報

№347 令和6年 8月号

斑点米カメムシ類に注意!!

梅雨も明けて極早生品種から順次出穂期を迎えますが、この時期は斑点米カメムシ類による吸汁害に注意が必要です。

被害にあった籾は、右写真のように黒い斑点として玄米に残り、検査時に等級を落とす原因になります。この斑点は精米しても残りますので防除するようにしましょう。



■防除方法

斑点米カメムシ類は、稲が大きくなるまでは周辺の雑草に生息しているため、雑草地や畦畔の草刈りをこまめに行うことで、個体数を減らすことができます。

ただし、出穂期直前～出穂直後は圃場内にカメムシを飛ばさないために出穂2週間前を目安に草刈りを終え、以降は籾が成熟するまでは控えてください。

また、薬剤防除は『キラップ粒剤』、『スタークル豆つぶ』の2剤がおすすめです。散布時期がそれぞれ異なりますので、必ず事前に確認してください。

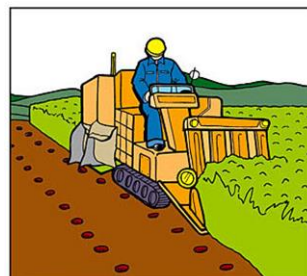
農薬名	散布適期	10a あたり散布量	散布方法
①キラップ粒剤	出穂10日 ^前 ～ 出穂期	3kg (1袋)	本田に均一に散布
②スタークル豆つぶ	出穂7～10日 ^後	250g (1袋)	畦から散布 (自己拡散)

※色彩選別機について

近年、色彩選別機を通して着色米を取り除く方が増えていますが、着色米の割合が多いと完全に取り除けない可能性があるほか、機械の仕様上良質な玄米も多少は選別に巻き込まれてしまうといったデメリットもあるので、上記の方法と併せて被害を抑えましょう。

秋作業前の準備

極早生品種を栽培しているところは、9月から稲刈りが始まります。当日の作業をスムーズに行えるように、余裕をもって準備しておきましょう。



○各 부품の破損や刃の欠け、ベルトの傷みがないかしっかり確認しましょう。また、異常がある場合は早めに交換しておくことをおすすめします。

○農機具が正常に動くか、異音がないか等事前に確認しておきましょう。特に、作業当日にコンバイン、乾燥機、籾摺り機が故障してしまうと玄米の発酵や異物混入の原因となるため注意してください。

☆JA茨木市乾燥籾摺り施設ご案内☆

現在、営農経済センターにて乾燥籾摺り施設の利用申込を受付しております。完全予約制となっておりますので、必ず事前にお申込みいただくようお願いします。

◆対象者 … JA茨木市の組合員

◆申込方法 … 営農経済センター店頭窓口またはお電話（TEL：641-9050）にて受付

詳しくは『令和6年度 JA茨木市乾燥籾摺り施設利用案内』をご覧ください。

《各種相談日のお知らせ》

	法律相談 隔月第2木曜日	税務相談 隔月第4金曜日	住宅ローン・資産相談 毎月第3土曜日	介護相談 随時受付
8月	—	23日	17日	介護に関する 無料相談受付 まずはお気軽にお問い合わせ下さい。 介護支援センター TEL：627-7767
9月	12日	—	21日	
10月	—	25日	19日	
【実施場所】 農協会館（JA茨木市 本店）3階 小会議室 【受付時間】 午後1時～午後4時 定員は3名ですので、事前にお問合せください。 （無料でご相談いただけます） ふれあい・福祉課 TEL：627-7768			【実施場所】 JA茨木市 各支店	



ご利用ください

【テレホンサービス】青果物の市況をお知らせします。 TEL：641-9150

【営農110番】栽培方法等ご相談ください。 TEL：641-9050